

令和5年度 第3回学校地域連携運営協議会の概要

【日の出中学校】

日 時：令和5年12月5日（火）14:00～15:00

出席者：（委員）8名

校長、教頭、前PTA会長、PTA会長、学校支援コーディネーター、日の出ふれあい農園代表、日の出中学校区青少年健全育成連絡協議会会長、日の出サポーターズクラブ代表

（ファシリテーター）市川市立第八中学校地域学校協働活動推進員

次 第：1 校長挨拶

2 第2回の協議内容の確認

3 協議

（1）来年度の学校運営について（学校評価から見た来年度の展望）

（2）来年度の学校運営に係る教職員の任用について

4 各委員から

5 今後の会議（第4回目）の予定について（生徒会役員参加）

（1）来年度の学校運営のことについて（来年度の学校経営方針など）

（2）中学校生徒と学校・地域の在り方について（具体的な取組の方向性）

< 協議における主な意見や感想 >

（1）来年度の学校運営について（学校評価から見た来年度の展望）

- 調査の保護者の回答の中で「わからない」の割合が多い項目がある。学校の取組の状況が十分に保護者へ届いていない面があるのではないかと考えられるので、情報発信について、より意識した取組が必要なのではないかと。
 - 情報発信の方法として紙面による手紙より、インターネット経由の電子データの方が保護者によく伝わるのではないかと。
 - 現在行っている学校連絡メールは、3学期より新システムへ移行することから、個人情報等に配慮しながら、情報を効果的に提供できるようにしたい。
 - 情報発信について、市全体や学校としてガイドラインのようなものを整備することが、効果的なのではないかと。
 - 他市の事例で、学校の活動に地域の方の協力を呼びかけたところ、「学校でそのような活動をしていることを知らなかった」と、多くの方に参加していただいた。情報を発信し続けることは大切なことである。
- ICT機器を使用した学習の項目について、推進する上で、ICT機器を使うことが目的にならないようにしてほしい。
- 地域へのかかわりについて、行事に参加しているという項目があるが、どのように生徒が地域について考えているかが重要である。第2回の会議における生徒の話から、意欲的に考えていることがわかった。
- 目指す生徒像を目標として掲げて取り組んでいることと思うが、その目標を日常的に具体的な取組として関連させられるのかが大切である。

（2）来年度の学校運営に係る教職員の任用について

- 教員以外の社会経験がある教員だと、広い視点から生徒のことを考えることができたり、保護者も相談しやすかったりする面があるのではないかと。
- 人事交流による他市での教員の経験があると、新たな考え方が学校の中に入り、教育活動が深まる。